

## 客員研究員受入れ調書

部局名 工学研究科

客員研究員 所属機関 フリガナ 職 氏名(姓大文字) 性別	イギリス ポリテクニカル大学 ピーター ジェイ マニエル 教授 Peter Jay MANUEL 男 リュウ ペイ フ ● 漢字圏からの研究員の場合: 劉 平夫 (LIU Ping Fu)
生年月日 出身国・地域	19〇〇年〇月〇日生 イギリス
研究課題	金属表面仕上げのためのトライボロジーの基礎研究
受入れ教員 専攻/附属機関 職 氏名	〇〇〇〇専攻 教授 工野理助
大学以降の学歴 及び職歴	1975年3月～1979年2月 イギリス ポリテクニカル大学 (物理学部) 在籍 1979年3月～1981年2月 " ポリテクニカル大学大学院 (物理専攻) 修士課程 在籍 1981年3月～1985年2月 " ポリテクニカル大学大学院 (固体物理専攻) 博士課程 在籍 (博士号取得) 1985年3月～1989年3月 イギリス アルカン イングランド 株式会社 研究員 1989年3月～現在 " ポリテクニカル大学 研究員
来学中の研究計画	金属の圧延や引き抜きにおける表面の仕上げの精度を現状よりも超かに向上させるために、現状のトライボシステム全体の問題点分析を行う。
研究期間	令和〇 (20xx)年〇月〇日～ 令和〇 (20xx)年〇月〇日
費用の出途	渡航費: イギリス政府科学技術省 滞在費: イギリス政府科学技術省
安全保障輸出管理	<input type="checkbox"/> 承認済み (承認日: 月 日) <input type="checkbox"/> 輸出管理シート作成不要

## 受入れ理由書

(本人の資格及び研究内容等に関する説明書)

工学研究科〇〇専攻工野理助教授は、イギリス・ポリテクニカル大学のPeter Jay MANUEL 教授と金属の表面仕上げのためのトライボロジーの諸問題について共同研究を行うことにより、〇〇の研究成果を挙げることが期待できるので、同人を客員研究員として受け入れたい。

なお、同人の研究業績は次のとおりである。

1. The Influence of Ion Implantation on the Elcitonic Reflectance of ZnO  
Solid State Communications, 41(1982), 553-560.  
P. J. Manuel and R. Helbig
2. Separation and Characterization of Block and Graft Copolymers by thin-layer Chromatography  
The Journal of Physical Chemistry, 106(1987), 123-135.  
P. J. MAMUEL, W. A. BURK and R. KOHNO
3. SUSPENSION POLYMERIZATION OF STYRENE UNDER ULTRASONIC IRRADIATION  
AIChE Journal, 35(1988), 154-162.  
C. Keesom and P. J. Manuel
4. Phenyltin Trichloroacetate Complexes: Preparations and Structures  
Journal If Chemical Society, Dalton Transactions, (1994), 1589-1598.  
Peter Jay Manuel
5. グリースの付着性  
潤滑, 28(1995), 146-155.  
P. J. マニユエル, 工野理助

外4編